

B コース①【介護と仕事の両立推進事業】

取組の実施状況

| | | | | |
|----------------------|---|-------------|-----------------|------|
| 企業名 | 株式会社和と輪 | | | |
| 所在地 | 東京都板橋区成増一丁目 29 番 7 号タイムズコート成増 307 号室 | | | |
| 業種 | (M)宿泊業、飲食サービス業 | | | |
| 常用労働者数 | 16 人 | | | |
| 事業内容 | 宿泊業、物販業など | | | |
| ホームページ | https://watowa.main.jp/ | | | |
| 1 ニーズ調査 | | | | |
| ①実施日 | 令和 6 年 11 月 1 日 | | | |
| ②方法 | 調査票を都内に勤務する全従業員に LINE ワークスで送付 | | | |
| ③回収率 | 対象者（都内勤務全従業員）10 名のうち回収数 8 名 回収率 80%（回収数／対象者） | | | |
| ④調査結果概要 | <p>(調査により明らかになった課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在の従業員の介護状況、介護対象者の有無について ほとんどの従業員が介護経験なし 今後の従業員の介護見込みについて 今後 5 年間に介護をする可能性がある従業員が 7 割だが、8 割が介護に関する不安を持っている 就業規則、規程内の介護関係制度に関する認知状況について 半数以上が、制度があるかどうか知らない状況 介護と仕事の両立に関する不安について 公的介護保険制度の仕組みがわからない、介護休暇を取得している人が職場にいない、介護と仕事を両立する方法がわからない、介護休暇を取得すると収入が減る、などの不安あり 介護が続いた場合の望ましい働き方及び社内制度について 有給休暇を希望通りに取得でき、社内のコミュニケーションも円滑と考えている従業員が過半数であることは良い点だが、介護休業を両立可能な体制をつくる期間と理解している従業員が少ないことが課題 | | | |
| 2 プロジェクトチームの設置及び運営状況 | | | | |
| ①設置日 | 令和 6 年 10 月 24 日 | | | |
| ②メンバー | 総計 3 名（うち都内勤務の従業員 2 名） (メンバー内訳) 労務担当 3 名 | | | |
| ③運営状況 | 開催日 | 開催時間 | 検討内容 | 参加者数 |
| | 10 月 24 日 | 10：00～11：00 | 活動内容及びスケジュールの確認 | 3 名 |
| | 11 月 29 日 | 10：00～11：00 | 調査結果分析、取組案の検討 | 3 名 |
| | 12 月 6 日 | 10：30～11：30 | 取組案の確定 | 3 名 |
| 3 策定した取組計画（内容及び取組時期） | | | | |
| 令和 7 年 1 月～ | <ul style="list-style-type: none"> 介護と仕事の両立に関する研修の実施、リーフレット配布など（年 2 回程度） 時間単位年休制度の導入や介護休暇の取得要件緩和など、介護と仕事を両立できる制度の導入検討会議（年 2 回程度） | | | |